

最高裁秘書第5654号

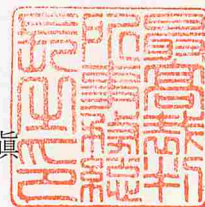
令和元年12月5日

林弘法律事務所

弁護士 山中 理 司 様

最高裁判所事務総長 中 村

慎



司法行政文書開示通知書

10月2日付け（同月4日受付，第014317号）で申出のありました司法行政文書の開示について，下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 高等裁判所事務局長事務打合せ 進行予定（10月4日）（片面で1枚）
- (2) 高等裁判所事務局長事務打合せ席図（片面で1枚）
- (3) 令和元年10月高等裁判所事務局長事務打合せ結果概要（片面で2枚）

2 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室）電話03（3264）5652（直通）

高等裁判所事務局長事務打合せ 進行予定（10月4日）

1 開議（午前10時）

事務総長挨拶

2 協議（午前10時15分～午後零時15分）

- (1) 部の機能の活性化について（60分）
- (2) 中長期的課題について（60分）

■ 昼食・休憩（午後零時15分～午後1時）

3 協議（午後1時～午後2時15分）

- (1) 裁判手続のIT化について（30分）
- (2) 危機管理対応について（45分）

4 フリーディスカッション（午後2時15分～午後2時55分）

5 事務総局からの情報提供（午後2時55分～午後3時10分）

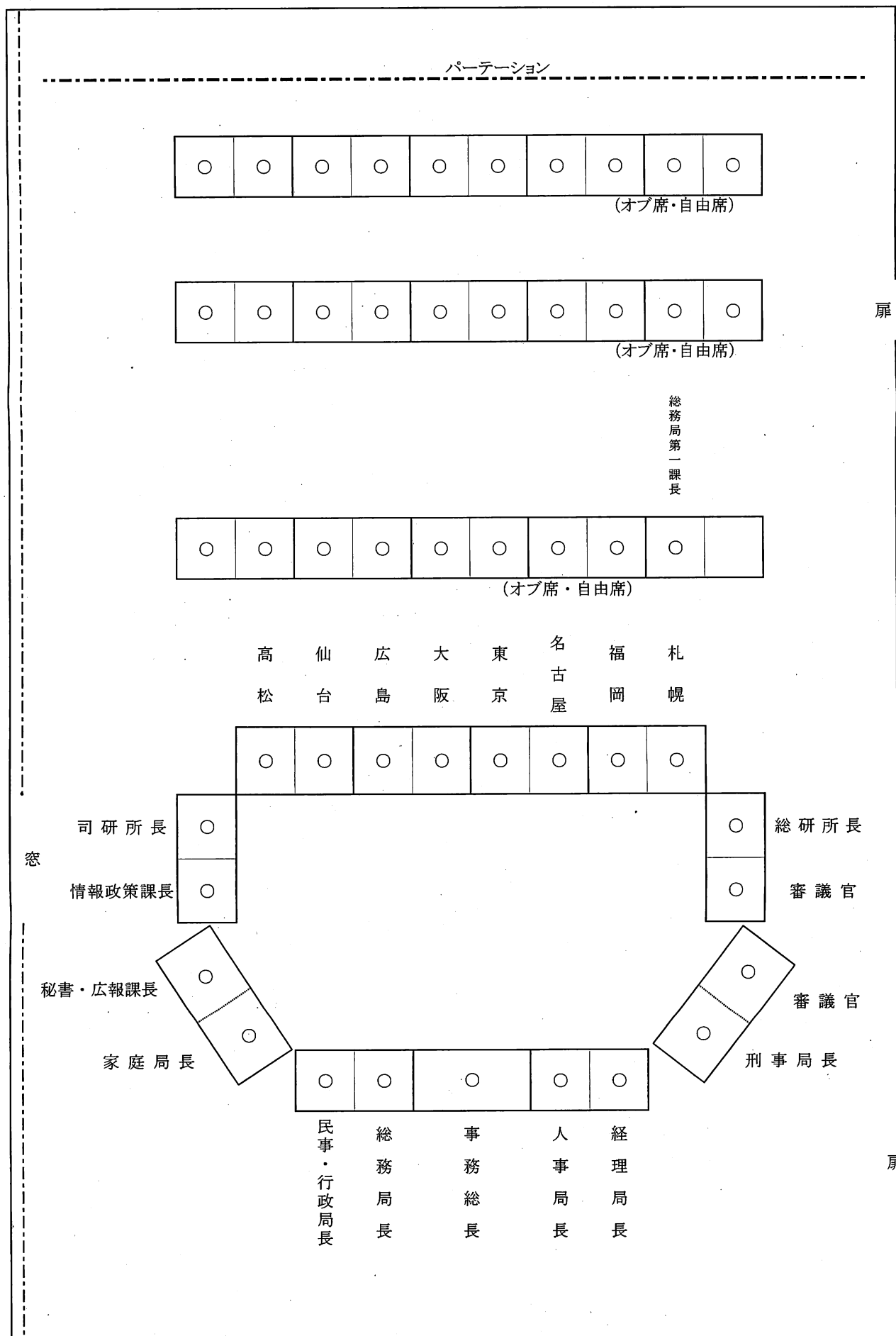
■ 休憩（午後3時10分～午後3時20分）

6 個別協議（午後3時20分～午後5時）

高等裁判所事務局長事務打合せ席図

令和元年10月4日(金)

最高裁判所中会議室



令和元年10月高等裁判所事務局長事務打合せ結果概要

【協議1】

部の機能の活性化について

長官所長会同の結果を受けた各庁の取組状況について紹介がされ、各所長が問題意識を持ち、部における議論を活性化させるような工夫を始めているとの実情が報告されたほか、部において司法行政上の課題も含めた議論がされるべきであるが、まずは事件に密接に関連する司法行政上の課題について議論をすることが良いのではないかといった意見が出された。また、最高裁からの取組の後押し・情報提供の在り方についても意見交換がされた。

【協議2】

裁判所における中長期的課題について

質の高い裁判を提供し続けることのできる裁判所組織としていくため、我が国の社会経済情勢の変化等を考慮に入れつつ、将来の裁判所の在り様を見据えて、中長期的観点から、人的物的態勢や組織・機構の在り方など様々な観点での検討を継続的に進めていく際の視点や留意点等について、意見交換を行った。検討を進めるに当たり、裁判所全体で問題意識を適切に共有することの必要性やそのための方策等について指摘がされた。

【協議3】

裁判手続のIT化について

裁判手続のIT化を見据えた争点整理を始めとする民事訴訟手続に対する書記官の関与の在り方について、必ずしも活発な議論がされていないのではないかと問題意識が示され、議論を後押しするための方策等について意見交換がされた。また、裁判手続のIT化を進めていく上で

は、各弁護士会や弁護士との連携を図っていく必要があるとの共通認識の下、更なる連携を図っていくための方策等について意見交換がされた。

【協議 4】

危機管理対応について

庁舎警備について、警察等の関係機関と連携し、現状で行っている様々な取組を確実に行うことが重要であるといった認識が示されたほか、近時多発している大雨等の自然災害への対応については、期日変更等の意思決定から関係者の連絡までの様々な対応に関する実例が紹介された。

以 上